

香川県高松市のさぬき農園ぐらしとの意見交換会へ
インターンシップ学生が参加

香川県高松市において、いちご農泊推進協議会との意見交換会へ岡山商科大学の学生が参加し、農泊地域の現状と課題、今後の取り組みについての説明及び意見交換会を実施。

1. いちご農泊推進協議会の概要

キャッチフレーズに「一年中いちごが繋ぐ、いちご一会の出会い」を掲げ、香川県オリジナルの品種いちご「さぬき姫」と香川県産の夏いちご「セントベリー」を活用し、一年中いちごを使った体験・食・宿泊を提供。地域へ訪れる都市部やインバウンドをターゲットとした滞在型旅行の実現に取り組んでいます。これらの取り組みによって、いちご農家の所得増加や、農泊をきっかけとした農家の担い手増加を目指しています。

2. 意見交換会の概要

(1)開催日時

令和7年9月9日(火曜日) 14時から15時

(2)開催場所

さぬき農園ぐらし(香川県高松市香西南町 607-5)

(3)協議会名

いちご農泊推進協議会

(4)参加者

岡山商科大学 経営学部商学科 3年生 1名

(5)内容

- ① 農泊地域の現状と課題
- ② 農泊事業の取り組みポイントと実施内容
- ③ 農泊事業の効果と説明
- ④ 今後の取り組みと問題
- ⑤ 意見交換



さぬき農園ぐらしの外観



さぬき農園ぐらし内での意見交換会の様子

3. 説明を受けた施設

さぬき農園ぐらし(フルーツ大福専門店)

4. さぬき農園ぐらしの概要

フルーツ大福専門の製造・販売会社で、香川県グリーンツーリズム拠点登録施設です。さぬき姫やセントベリーなど果物をふんだんに使った食事、また、いちごアイス大福づくりの体験事業を実施するとともに、ほかの事業所と連携し、その大福づくりキットを協議会構成員へ提供することで大福づくり体験が店舗以外でも行われています。

5. 参加したインターンシップ学生の感想

農泊における多様なコンテンツのなかで「食」と「体験」を同時に楽しむことができ、1つの場所に限らず複数の場所で実施されているいちご農泊の取り組みは、すごく魅力的で地域全体の活性化に対して強い思いが感じられました。一方で、夏いちご「セントベリー」が暑さで収穫できないことや、地域に訪れる都市部・インバウンド観光客に対して、どのようにPRしていくのかという課題があることを聞きました。食べ物や地域の中の限りあることに対して、意見交換会を通じてどのように解決していくのか経営者の立場から考えることができました。

また、さぬき農園ぐらしでは、フルーツ大福のテイクアウトだけでなく、店内でのカフェやランチも楽しめる場所になっており、実際にお客さんがその場で食べて商品を購入して帰っていく姿を見ました。このことを見て、「食べること」がその後の行動につながっていることを改めて認識することができました。

さぬき農園ぐらしホームページ(香川県高松市)

<https://sanuki-nouengurashi.net/>